

一般社団法人日本粘土学会 2023 年度第 2 回理事会議事録

日 時：令和 5 年 1 月 21 日（土）15:00～17:00

会 場：国際文献社パブリッシングセンター8 階会議室および Zoom 会場

出席者：理事（26 名）川俣 純、日比野俊行、鈴木正哉、蛭名武雄、會澤純雄、井出裕介、伊藤健一、上原元樹、梅村泰史、大河原正文、岡田友彦、黒田義之、桑原義博、敷中一洋、地下まゆみ、鈴木康隆、田村堅志、藤井和子、牧野知之、皆瀬 慎、宮元展義、宮脇 律郎、三好陽子、毛利恵美子、森下智貴、渡邊雄二郎

監事（2 名）：志々目正高、高木哲一

理事以外の常務委員（7 名）：亀島欣一、笹井 亮、手束聡子、中戸晃之、森本和也、横山信吾、鈴木憲子

事務局：川島朝子

成立確認：理事総数 29 名の半数 15 名、出席理事 26 名で理事会の開催は成立

審議事項

1. 2023 年度事業中間報告（資料 1、2）

各担当委員より、資料をもとに報告があった。会員資格停止解除者（別資料）について事務局川島さんから、前年度に会費 2 年滞納であったが入金があったので、解除となったことが説明された。手束庶務委員より、会員資格喪失者（4 名）と会員資格停止者（2 名）について説明があった。また、提示された（別資料）会費未納者に関係者がいたら声かけをして欲しいとの要請があった。

2. 2023 年度会計中間報告（資料 3）

伊藤会計委員より配布資料に間違いがあったので後日正しい資料を配付するとの説明の後、映写資料をもとに説明があった。現在銀行口座は 3 つであるが、三菱 UFJ 銀行は利用しなくなっているので、解約することが提案された。

3. 収支健全化に向けた WG 答申について（資料 4～7）

日比野委員より資料をもとに報告があった。常務委員会での議論を踏まえて、以下の件について諮問した。

- ・学術振興基金積立は今後の記念行事を鑑み 500 万円を目標とする。
- ・会費の値上げは会員数から考えてあまり効果がないので、行わない。
- ・学会誌の保管費削減のため、発行後 1 年を過ぎたものは 2 冊とする。
- ・会員数と照らし合わせて、理事数を 20 名に減らす。ただし業務への影響をみて再考する。理事の再任制限を撤廃する。

また、雑誌発行経費の削減における雑誌のデジタル化について、全部デジタル化は直ぐには難しいと思うが、年 3 刊を 2 刊にすることは可能かもしれないとの意見が常務委員会が出されたので、どの号を削減するかなどについて、次回の理事会で提案するとの報告があった。

4. 期末に入会する学生の取り扱いについて（資料 8）

事務局川島さんから資料をもとに、4/1～8/31 に入会申し込みをした学生は翌年度の会費を無料とする旨の説明があった。会費に関する事は総会での承認が必要であるため、この案で来年度の総会に諮ってよいか、という提案がなされた。

5. 粘土科学討論会申し合わせについて（資料9）

蛭名常務委員長より資料をもとに説明があった。現地実行委員会が動きやすいように、また時代に合うように改訂したものであることが説明された。

6. CMS-Asian Clay 合同会議の現状報告（資料10）

川俣会長より資料をもとに説明があった。日本からの実行委員には、他の国のトップが委員になっていないのを考慮して、佐藤前常務委員長と蛭名常務委員長に就任してもらった。

予算について、具体的なものはまだ提示されていないが、赤字の見込みは最大で日本円で50万円くらいとのことであった。50万円までのデポジットはすでに前回の理事会で承認されているが、50万円を越えるデポジットが事前に必要になった場合はその都度協議するという条件をつけてMOUにサインすることが提案された。

7. 粘土科学討論会

(1) 第65回粘土科学討論会会計報告（資料11）

笹井実行委員長から資料をもとに説明があった。

(2) 第66回粘土科学討論会について

(a) 第66回粘土科学討論会実施計画（資料12）

蛭名実行委員長から資料をもとに説明があった。参加登録費の支払い方法についての議論があった。現在はゆうちょ銀行の振込用紙を粘土科学に同封しているが、利便性を考えると参加申し込み時にオンライン決済としたいが、その利用料負担と参加人数で費用対効果を考えるとあまりメリットが無い。申し込みの時に、参加費、懇親会費などの内訳が分かるようにすれば、銀行振り込みでも確認が可能となる。さらに、振込用紙を入れる費用節約、およびネットバンキングを使う方の利便性がはかれるなどの利点もあるので、支払い方法は銀行振込とすることにした。

(b) 第6回粘土科学討論会シンポジウム実施計画（資料13）

渡邊企画委員長から資料をもとに説明があった。

8. 「粘土科学」文献情報のAGROPEDIAでの公開について（資料14）

横山編集委員長から資料をもとに説明があった。

9. その他

特になし。

以上、審議の上承認された。

報告事項

1. 日本地球惑星科学連合 臨時学協会長会議報告（資料15）

川俣会長から資料をもとに説明があった。内閣府から出されている「日本学術会議のあり方についての具体化検討案」について、再考を求める声明を日本地球惑星科学連合で出す場合、本会も賛同するかは、内容を吟味して、もし要請があったら別に審議して方向性を決めることとした。

2. 名誉会員について（資料16）

蛭名常務委員長から名誉会員リストが示され、これ以外に該当者（年齢70歳以上、粘土学会に貢献した方）がいたら、推薦して欲しいとの要請があった。

### 3. その他

森本選挙管理委員長から、電子投票システムの休止について説明があった。昨年度の役員選挙で利用した電子投票システムは年間契約なので、解約を申し出たところ「休止」という制度を提案された。休止の間は使用料がかからず、次回利用する時に初期導入費用(3万円)がかからないとのことから、解約ではなく休止とすることの報告があった。

川島さんから、理事の役員登録は昨年10月に完了したとの報告と、書類提出のお礼がなされた。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、代表理事及び監事がこれに記名押印する。

令和5年1月23日

一般社団法人日本粘土学会 理事会

代表理事(会長) 川俣 純 ⑩

代表理事(副会長) 日比野俊行 ⑩

監事 志々目正高 ⑩

監事 高木 哲一 ⑩